

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成12年～	
総合計画	大項目	基本目標 01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策 01	生活しやすいまちづくり
	小項目	施策 10	適正な維持管理
事務事業名		08	個別排水処理施設管理運営事業
		担当課(室)	下水道課
		職・氏名	施設係長 福田昌晃
		電話	0869-63-2330

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域外で生活する市民及び不特定多数
目的(何のために)	文化的で快適な生活環境の提供を図り、併せて公共用水域の水質保全に資する。
行政活動(どのような方法で)	委託による浄化槽の維持管理及び清掃の実施及び故障等の修繕実施
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つとともに、未接続や未供用の解消を推進する。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
設置人口	人	245	252	247	活動
接続人口	人	229	235	239	
設置戸数	戸	166	166	166	
接続戸数	戸	139	139	139	
放流河川下流BOD値	mg/L	1	1	1	
事業費					
事業費	千円	17,393	19,845	21,709	実績
必要人員	人	0.15人	0.05人	0.02人	
事業費	千円	18,223	20,345	21,867	
国・県・市・支出					
受・益・者・負・担					
繰・入・金・債	千円				財源
市・債					
その他( )					
一般財源		0	0	0	
受益者負担比率	%				
結果指標					
接続人口	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	結果指標①
結果指標量	人	229	235	239	
対前年比	%	—	102.6%	101.7%	
活動コスト	円	18,223,065	20,345,400	21,866,571	
単位当たりコスト	円	79,577	86,576	91,492	
接続戸数	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	結果指標②
結果指標量	戸	139	139	139	
対前年比	%	—	100.0%	100.0%	
活動コスト	円	18,223,065	20,345,400	21,866,571	
単位当たりコスト	円	131,101	146,370	157,313	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
水洗化率(%)	目標値(A)	100	100	100	100
	実績値(B)	93.5	93.3	96.3	到達目標年度
	達成率(B/A)	93.5%	93.3%	96.3%	平成27年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
浄化槽接続人口/対象区域内人口					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	浄化槽法等の規定に基づき、公共用水域の水質保全及び生活環境の保全を図るため、個別浄化槽の管理を行う。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	浄化槽の老朽化の進行より、修繕費用が発生し、コストが増加している。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的に関与し情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	浄化槽の機能が十分に発揮され、環境が良好に保全されている。
有効性の評価	市民参画度		有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	239	結果指標量②	242	成果指標量		
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。						

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性	効率性	有効性
浄化槽は適正な機能を満たしている。		C			

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果		